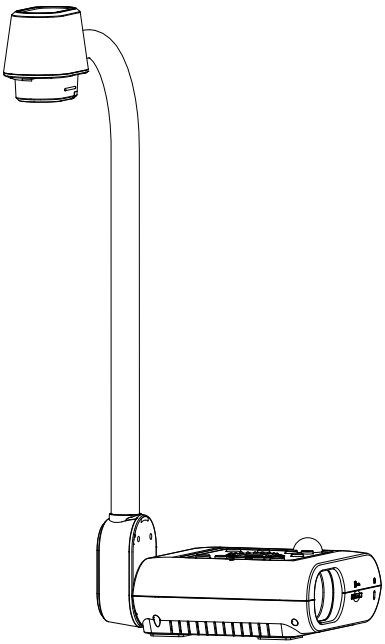
http://jp.aver.com



AVerVision F50+

ユーザーマニュアル

お使いになるまえに～安全のために必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項が記入されております。ご使用前によく読んで大切に保管してください。

以下の表示の意味をよく理解した上で本文をお読みください。

本書に記載する記号について

警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを表しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損傷が発生する危険性があることを表しています。

表示の例

注意	△記号は注意を促すことを告げています。図のなかに具体的な注意内容（左の記号の場合は高温注意）が表されています。
禁止	⃠ 記号は禁止行為を告げています。図中やその周辺に具体的な禁止内容（左の記号の場合は分解禁止）が表されています。
指示	● 記号は行為の強制や指示が表されています。図のなかには具体的な内容（左の記号の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が表されています。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠警告

- 交流 100V 以外の電源では使用しないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 電源コードに傷をつけたり、上に重いものをのせたり、強く引っ張ったりしないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 機器の内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災のおそれがあります。万一、異物が入ったり、水がかかったことで動作をしない場合は、すぐに使用を中止して、販売店または当社営業担当にご連絡ください。
- 機器に水や異物を入れたり、ぬらさない。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 電源コードを高温部に近づけないでください。コードの被覆が溶けて感電や火災のおそれがあります。
- 本機を直射日光の当たるところや、冷暖房器の近く、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因になります。
- 本機を水、油、薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。液体をこぼした場合には、電源を切り電源プラグコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因になります。
- 本機を移動させる場合は、本体台座部分を持ってください。台座部分を持たずに移動すると、事故や故障の原因になります。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、すべての配線をはずしたことを確認してから行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
- 風呂場、シャワー室では使用しない。火災・感電の原因となります。
- 電源アダプタのコードが傷んだら（断線、芯線の露出）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源アダプタは必ず付属品を使用してください。火災・感電の原因となります。
- 付属の電源アダプタ、電源ケーブルは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

⚠ 警告



- 電源プラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、機器本体の電源スイッチを切り電源プラグを抜いてから、ほこりを取り除く。電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。
- 電池の液が目に入ったときは、失明などの障害の恐れがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- 小さなお子様の手の届くところには、設置・保管しないでください。取り外した電池を小さなお子様の手の届く場所に放置しないでください。飲み込んだり、のどに詰まらせることがあります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
- 電池の＋と－を逆にして使用しないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 種類の異なる電池、新しい電池と使用済みの電池、古い電池などを混ぜて使用しないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 使い切った電池はすぐにリモコンから取り出してください。
- 使い切った電池をリモコンにセットしたまま長時間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、リモコンを破損させるおそれがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合には、リモコンから電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、リモコンを破損させるおそれがあります。
- 電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破損したりケガや機器故障の原因となります。
- 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。
- 電池を廃棄するときは、地域の回収ルールに従ってください。



- 機械の分解、改造は絶対におこなわないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 機器の裏ぶた、カバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。



- 使用中に本体から煙がでたり、異臭、異音がするなどの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または当社営業担当にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- 機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。これを怠ると感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードに傷がついて感電や火災の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。これを怠ると感電の原因になります。
- 本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜いておかないと火災の原因になります。

⚠ 注意

- 変色や変形、故障の原因になりますので本機を科学ぞうきん、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤で絶対にふかないでください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞ってからふいて、その後乾いた柔らかい布で水分をふきとってください。水洗いは絶対にしないでください。
- お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケーブルを接続機器から抜き、配線をはずしたことを確認してから行ってください。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

登録商標について

- Windows 2000、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、iMac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- IBM PC、XGA、SVGA、VGA は、International Business Machines Corporation の登録商標です。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。。VCCIー A

免責

本書の内容、品質、商品性、特定の目的への適合性に関して、明示的か暗示的かを問わず、いかなる保証または責任を放棄します。本書が提供する情報の信頼性は慎重に確認されていますが、正確性に欠いたとしても一切責任を負いません。本書に含まれる情報は予告なしに変更されることがあります。

AVer は、本製品または本書の使用または不使用によって発生したいかなる直接的、間接的、特別、付随的、または結果的な損害に対して、たとえこのような損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、一切責任を負いません。

商標

AVerVision は AVer Information Inc.社の登録商標です。IBM PC は IBM 社の登録商標です。Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。Microsoft および Windows はそれぞれ Microsoft 社の登録商標および商標です。本書に記載されている他のすべての製品名または会社名は認証および説明目的のためだけで、各社の商標または登録商標となっている場合があります。

著作権

© 2023 by AVer Information Inc. 全権留保。| 2023年7月12日
本書の一部または全部をAVer Information Inc.社の文書による許可なしに、いかなる手段でも、再発行、転送、検索システムへ保存、他の言語へ翻訳することを禁止します。



ゴミ箱のマークは他の家庭用廃棄物と一緒に本製品を廃棄してはならないことを示しています。むしろ、不要になった電気および電子装置をリサイクルのために指定された集積場に持参して、不要な装置を廃棄する必要があります。リサイクルするために不要な装置を廃棄する場所に関する詳しい情報については、家庭用廃棄物処理サービスセンターまたは製品を購入した販売店にお問い合わせください。

リモートコントロールのバッテリの安全性に関する情報

- バッテリは涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 使用済みのバッテリを家庭用廃棄物として廃棄しないでください。バッテリは特別な集積場で廃棄するか、該当する場合には販売店に返却してください。
- 長期間使用しない場合には、バッテリを取り外してください。バッテリの液漏れや腐食により、リモートコントロールが損傷する場合があります。バッテリは安全に廃棄してください。
- 古いバッテリを新しいバッテリと一緒に使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池(炭素亜鉛)、または充電式電池(ニッケルカドミウム)など、異なるタイプのバッテリを一緒に使用しないでください。
- バッテリを火の中に廃棄しないでください。
- バッテリの端子を短絡させないようにしてください。

製品サポート

FAQ、テクニカルサポート、ソフトウェア、およびユーザー・マニュアルのダウンロードについては、次のウェブサイトをご覧ください：

ダウンロード・センター

https://jp.aver.com/download-center

ヘルプセンター

https://jp.aver.com/helpcenter

お問い合わせ先

アバー・インフォメーション株式会社
https://jp.aver.com
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-2-26 立花新宿ビル 7 階
TEL：03 5989 0290
テクニカル・サポート：https://jp.aver.com/technical-support

目次

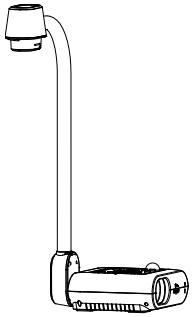
パッケージ内容 1
オプション 1
AVerVision F50+ 各部の紹介 2
右パネル 3
リアパネル 3
左パネル 4
コントロールパネル 5
リモコン 7
各部の接続 9
電源アダプタとの接続 9
USB によるコンピュータへの接続 9
RGB 出力インターフェースを備えたモニターまたは LCD / DLP プロジェクターに接続します 10
コンピュータへの接続 10
HDMI インターフェースによるモニターまたは LCD/DLP プロジェクターへの接続 11
HDMI 入力インターフェイスのあるコンピュータに接続 11
外部マイクの接続 12
アンプスピーカーの接続 12
顕微鏡への接続 13
設定と準備 14
収納と取り扱い 14
撮影エリア 15
カメラヘッド LED ライト 16
赤外線センサー 16
F50+ を平らな面に固定 17
反射防止シート 17
外部メモリストレージ 18
SD カードの挿入 18
USB フラッシュドライブの挿入 18
OSD メニュー 19
メニューとサブ・メニューのナビゲート 20
イメージ 20

明るさ 20
コントラスト 20
彩度 20
撮影モード 21
設定 24
保存先 25
USB ストリーミングフォーマット 25
入力ボリューム 26
タイマー開始 26
タイマー一時停止／停止 26
タイマー間隔 26
システム 27
言語 27
ビデオ出力解像度 27
保存 27
設定内容保存 27
設定内容呼び出し 28
電源周波数 28
機器情報 28
初期化 28
再生 29
スライドショー 29
間隔 29
保存先 29
全て削除 29
撮影された画像/ビデオのコンピュータへの転送 30
主な仕様 31
画像 31
光学 31
電源 31
照明 31
入力/出力 31
寸法、重量 32
外部ストレージ 32

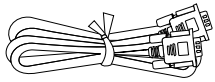
RS-232 インターフェースの使用 **32**
コンピュータの RS-232 への接続 32
RS-232 ケーブル仕様 **33**
RS-232 送信仕様 33
RS-232 通信方式 **33**
RS-232 送信コマンド表 **34**
RS-232 取得コマンド表 38
トラブルシューティング **39**
保証について **40**

パッケージ内容

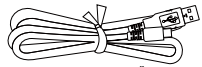
以下の品がパッケージに同梱されているかご確認ください。



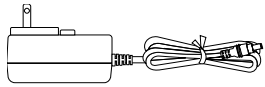
AVerVision F50+



RGB ケーブル

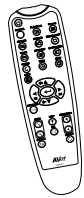


USB ケーブル
（タイプ A からタイプ C）



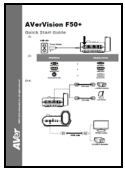
電源アダプタ

＊電源コード、販売する国のコンセントによって異なります。



リモコン

（米国地域では、AAA ＊ 2 バッテリーが含まれています）



クイックガイド

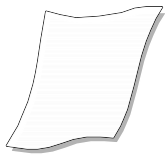


保証書

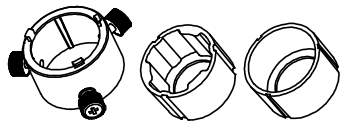
オプション



キャリングバッグ

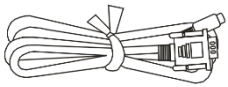


反射防止シート



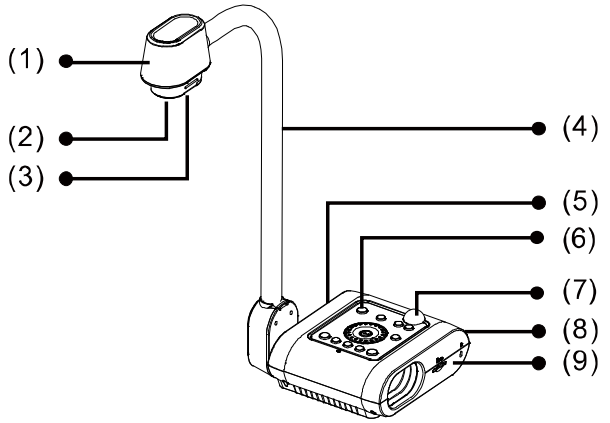
顕微鏡用アダプタ

（28mm 用、34mm 用ゴム製カプラ）



RS-232 ケーブル

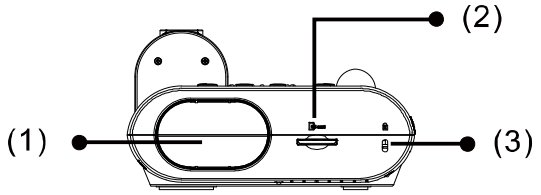
AVerVision F50+ 各部の紹介



(*fig. 1.1*)

機能		説明
(1)	カメラヘッド	カメラセンサーを内蔵しています。
(2)	カメラレンズ	被写体に焦点を合わせます。
(3)	LED ライト	光を供給して照明条件を高めます。
(4)	フレキシブルアーム	撮影範囲を調整できます。
(5)	左パネル	HDMI 出力/入力外部ディスプレイ デバイス、MIC 入力、ライン出力、および USB ポートの接続。
(6)	コントロールパネル	さまざまな機能を簡単に操作できます。
(7)	赤外線センサー	リモコンの信号を受信します。
(8)	リアパネル	電源アダプタ、RGB ケーブル、RS-232 ケーブル、USB-C ケーブルの接続口が付いています。
(9)	右パネル	カメラヘッドホルダー、SD カード差込口、盗難防止ケンジントンセキュリティロック互換スロットの接続。

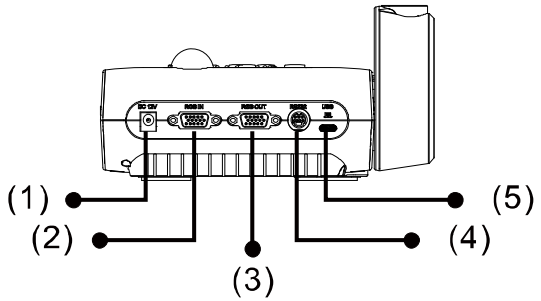
右パネル



(*fig. 1.2*)

	機能	説明
(1)	カメラホルダー	カメラヘッドをストレージに収納します。
(2)	SD カードスロット	SD カードを挿入します。
(3)	盗難防止スロット	Kensington 互換性セキュリティロックまたは盗難防止装置を取り付けます。

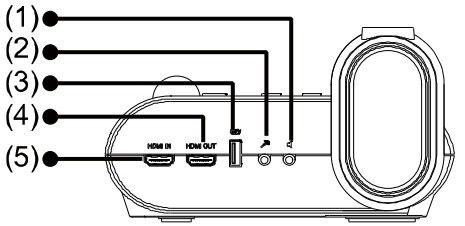
リアパネル



(*fig. 1.3*)

	機能	説明
(1)	DC12V	電源アダプタを接続します。
(2)	RGB 入力端子	コンピュータまたは他のソースから信号を入力し、RGB 出力端子だけに通過させます。コンピュータの RGB/VGA 出力端子とこの端子を接続します。
(3)	RGB 出力端子	AVerVision F50+ を RGB 出力で使用する際に、ディスプレイデバイスに接続します。
(4)	RS-232 接続口	付属の RS-232 ケーブルをこのポートに接続します。RS-232 ジャックを使用して、コンピュータのシリアルポートまたはコントロールパネルに接続したり、必要に応じて集中制御を行うことができます。
(5)	USB-C 接続口	USB ケーブルでコンピューターのUSB ポートに接続し、AVerVision F50+ を USB カメラとして使用するか、撮影した画像／ビデオをメモリソースからコンピューターに転送。

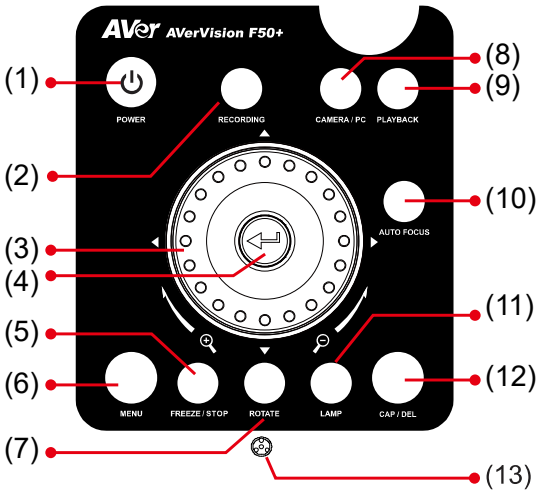
左パネル



(*fig. 1.4*)

機能	説明
(1) スピーカー出力	アンプスピーカーまたはヘッドホンに接続して、録音・録画された音声またはビデオクリップの再生音を聞くことが出来ます。
(2) マイクロホン入力	外部マイクに接続します。このポートに外部マイクを接続すると、内蔵マイクが無効になります。
(3) USB ポート	USB フラッシュドライブを挿入し、USB フラッシュドライブから画像/ビデオを直接保存するか。
(4) HDMI 出力端子	HDMI ケーブルを使用して、HDMI インターフェイスを備えるインタラクティブ フラット パネル、LCD モニター、または LCD/DLP プロジェクター上のメイン システムへビデオ信号を出力します。
(5) HDMI 入力端子	このポートを介して外部 HDMI ソースを入力として接続します。このポートをコンピューターの HDMI 出力ポートと接続。

コントロールパネル



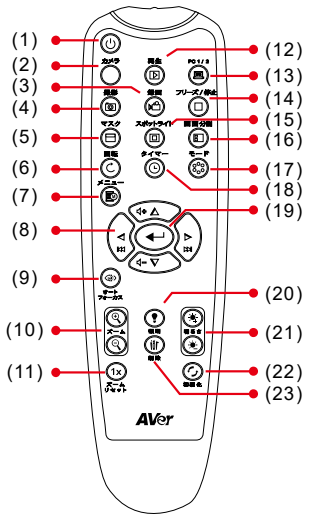
(fig. 1.5)

機能	説明
(1) 電源	本体の電源を入れたり、スタンバイ状態にします。
(2) 録画	音声とビデオの録画を開始/停止します。音声とビデオの録画を保存できるのはSDカードまたはUSBフラッシュドライブだけです。外部メモリストレージを参照してください。
(3) ジョグダイヤル	- カメラモードと再生モードでのみ、ジョグダイヤルを時計回りに回転させると画像を拡大、反時計回りに回転させると画像を縮小します。 - ジョグダイヤルの▲、▼、◀、▶を使用することで下記の操作が可能となっております。 ● 拡大モード中の画像への接近 ● 16 サムネイル画像の選択もしくは移動 ● 再生モード時に、次のもしくは前の全画面プレビューへの移動 ● OSD メインメニューとサブメニューでの選択と調整 (その他の詳細については、「メニュー機能」を参照してください。) - ▲および▼を使用し、ビデオ再生音量を調整します。 - ◀および▶ を使用し、ビデオを早送りしたり巻き戻したりします。
(4) ↵	- 選択(再生モード、OSD メニュー使用時) - ビデオ再生/一時停止(再生モード時、ビデオ選択後)
(5) フリーズ/停止	- カメラモードで画像の表示を一時停止、または再開します。 - 再生モードで音声およびビデオの再生を停止します。
(6) メニュー	OSD メニューとサブメニューを表示/終了します。
(7) 回転	カメラモードでのみ画像を 0/180° 回転させます。
(8) カメラ / PC	RGB 入力ポートまたは HDMI 入力ポートからカメラまたはコンピューター間でビデオ信号を切り替え
(9) 再生	撮影した静止画像とビデオファイルを表示、再生します。

機能	説明
(10) オートフォーカス	焦点を自動的に調整します。
(11) ランプ	オーバーヘッドライトをオン/オフにします。
(12) 撮影/削除	- カメラモードで画像を撮影します。連続撮影モードで、このボタンをもう一度押すと停止します。 - 再生モード時に、選択された写真/ビデオを削除します。
(13) 内蔵マイク	ビデオクリップを録画するときには音声を録音します。録音された音声はモノラルになります。

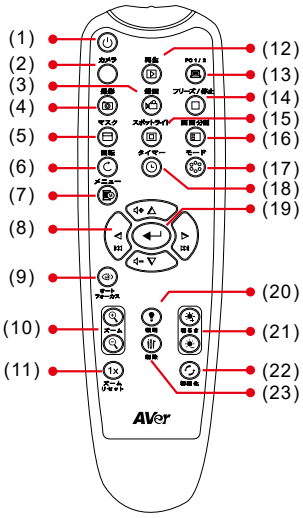
リモコン

リモコンには「単 4」電池が 2 本必要です。ご使用になる前に、電池が正しく装着されているかを確認してください。リモコンで AVerVision F50+ の全機能にアクセスすることができます。

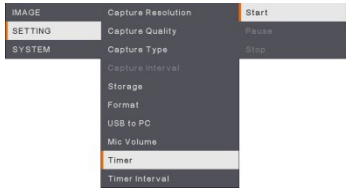
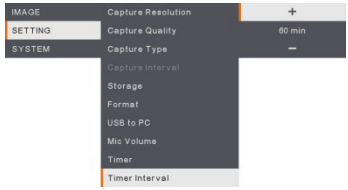


(*fig. 1.6*)

機能	説明
(1) POWER (電源)	本体の電源を入れたり、スタンバイ状態にします。
(2) カメラ	カメラモードは、内蔵カメラからのビデオ信号を表示します。
(3) 録画	音声とビデオの録画を開始/停止します。音声とビデオの録画を保存できるのは SD カードのみとなります。
(4) 撮影	カメラモードで静止画像を撮影します。連続撮影モードで、このボタンをもう一度押すと撮影が停止されます。
(5) マスク	非対応。
(6) 回転	カメラ・モードで画像を 0° /180° 回転。
(7) メニュー	OSD メニューを表示/終了します。
(8) ▲, ▼&◀, ▶	- ライブ モード、および再生モードの両方において、(デジタル ズーム レベル以上の) 画像をパンおよびズームインします。 - OSD メニューでオプションを選択します。 - ▲および▼を使用し、ビデオ再生音量を調整します。 - ◀および▶を使用し、ビデオを早送りしたり巻き戻したりします。
(9) オートフォーカス	焦点を自動的に調整します。
(10) ズーム +/−	カメラおよび写真の再生モードで画像の倍率を調整します。
(11) ズームリセット	ズームレベルを 100%にリセットします。
(12) 再生	メモリに取り込んだ写真/ビデオを 16 個のサムネイル画像で表示します。
(13) PC 1/2	PC モードは、AVerVision F50+ の RGB/HDMI 入力端子からのビデオ信号を表示します。
(14) フリーズ / 停止	- ライブ画像を一時停止させます。 - ビデオの再生を停止します。
(15) スポットライト	非対応。
(16) 画面分割	非対応。
(17) モード	ボタンを押すと、標準、高フレーム、高画質、顕微鏡、インフィニティ、またはマクロ・



(*fig. 1.6*)

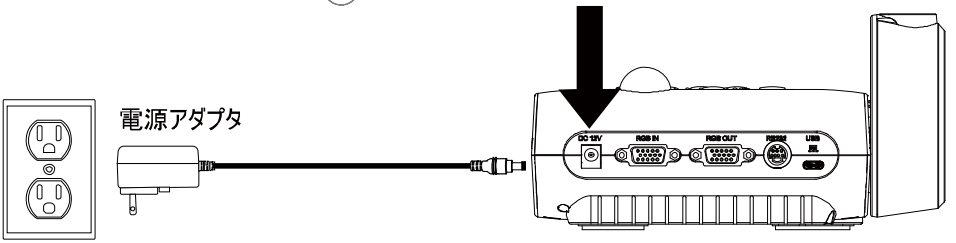
機能	説明
	モードを切り替え。
(18) タイマー	タイマー・サブメニューを呼び出します。タイマーのカウントダウンの開始／一時停止／停止を選択し、タイマーの継続時間を設定。  タイマー間隔を選択して、タイマー期間を設定します。  【注意】: 上記の設定メニューは参考用です。
(19) 	選択（再生モード、OSD メニュー使用時） ビデオ再生/一時停止（再生モード時、ビデオ選択後）
(20) 照明	カメラヘッド LED ライトをオン/オフにします。
(21) 明るさ+/−	明るさの調整をします。
(22) 初期化	工場出荷時設定にリセットします。
(23) 削除	再生モード時に、選択された写真/ビデオを削除します。

各部の接続

すべてのデバイス（モニターなど）の電源を必ず切ってから、接続を行ってください。どこに接続すべきかはっきりしない場合は、下図に示す接続方法に従い、さらに AVerVision F50+ を接続するデバイスのユーザーマニュアルも参照してください。

電源アダプタとの接続

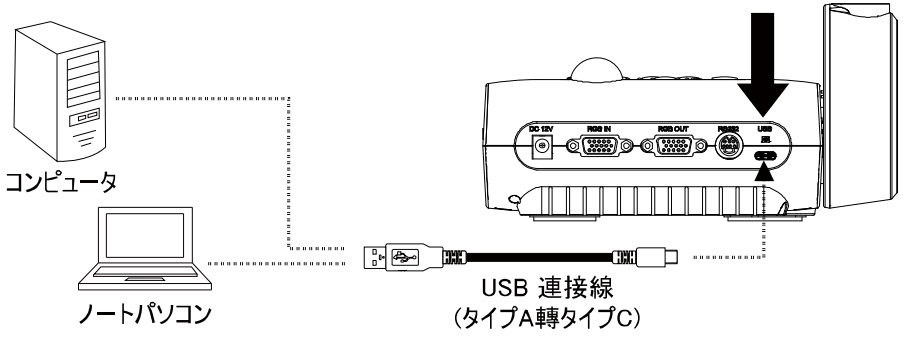
電源アダプタを標準的な 100V~240V AC 電源コンセントに接続します。電源を接続すると、ユニットは自動的にスタンバイモードになります。⏻ を押して電源を入れます。



壁のコンセント
（* コンセント形状は地域によって異なり）

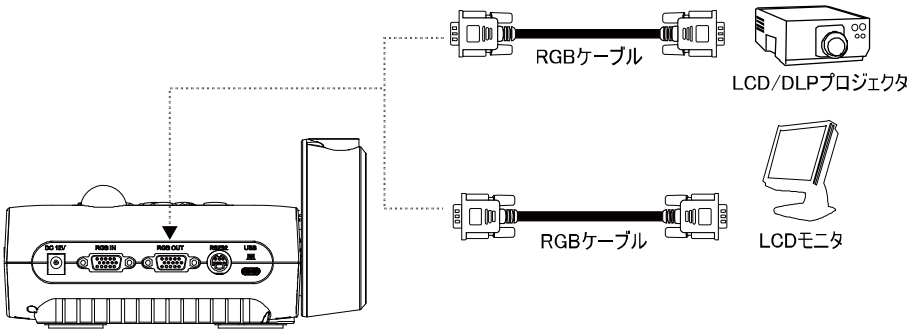
USB によるコンピュータへの接続

コンピュータまたはノートパソコンの USB 接続口を AVerVision F50+ の PC 接続口に接続します。



RGB出力インターフェースを備えたモニターまたはLCD / DLPプロジェクターに接続します

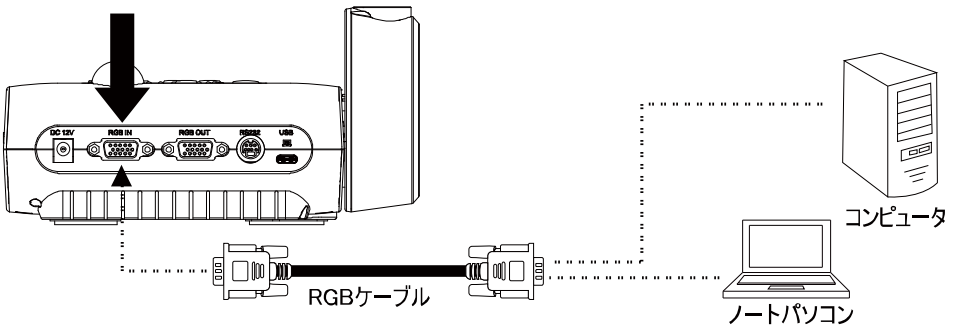
グラフィックスディスプレイ機器の RGB (VGA)入力ポートを AVERVISION F50+ の RGB OUT ポートに接続します。



コンピュータへの接続

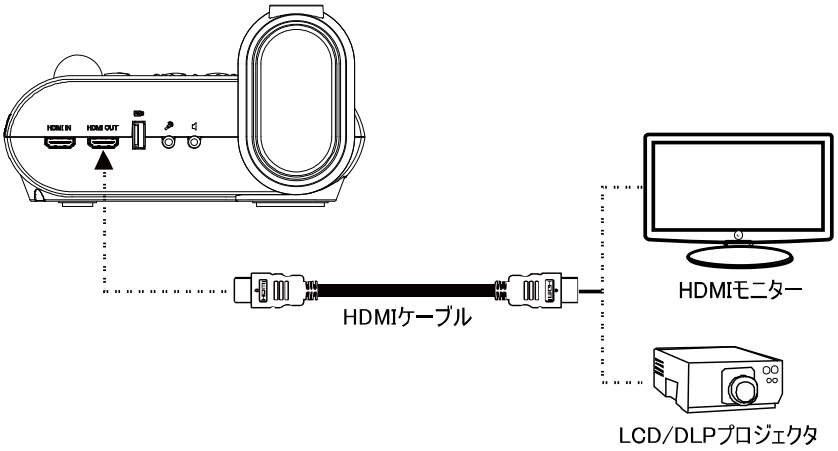
コンピュータまたはノートパソコンの RGB (VGA) 出力を AVerVision F50+ の RGB 入力端子に接続します。RGB 入力端子からのビデオ信号は RGB 出力端子に送信されます。

- コンピュータで画像を表示するには、コントロールパネルまたはリモコンでカメラ/PC ボタンを押し、AVerVision F50+ をコンピュータモードに切り替えます。
- ノートパソコンで表示画像を出力する場合、キーボード・コマンド(FN+F5)を用い、表示モードの間で切り替えます。異なるコマンドについては、お使いのノートパソコンのマニュアルを参照してください。



HDMIインターフェースによるモニターまたはLCD/DLPプロジェクターへの接続

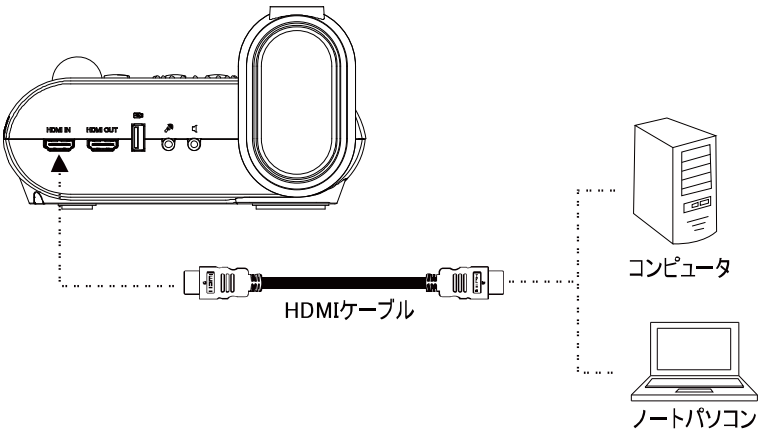
ディスプレイ機器の HDMI 入力ポートを AVerVision F50+ の HDMI 出力端子に接続します。



HDMI 入力インターフェイスのあるコンピュータに接続

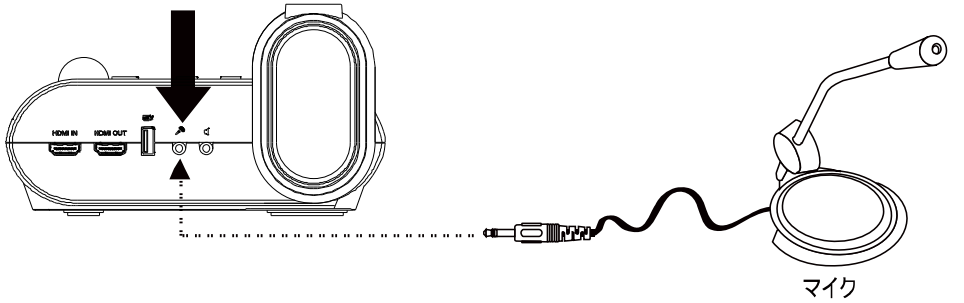
コンピュータまたはノートパソコンの HDMI 出力端子を AVerVision F50+ の HDMI 入力端子に接続します。

- コンピュータ画像を表示するには、コントロールパネルまたはリモコンでカメラ/PC ボタンを押し、AVerVision F50+ をコンピュータモードに切り替えます。
- ノートパソコンで表示画像を出力する場合、キーボード・コマンド(FN+F5)を用い、表示モードの間で切り替えます。異なるコマンドについては、お使いのノートパソコンのマニュアルを参照してください。



外部マイクの接続

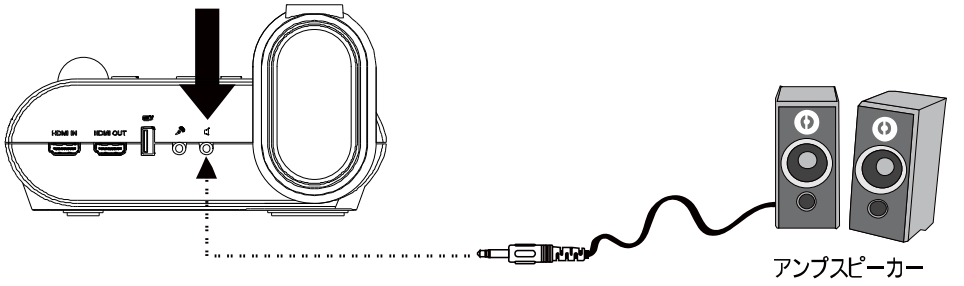
3.5mm モノマイクを 接続口に接続します。コントロールパネルの内蔵マイクは、外部マイクを接続すると無効になります。録音された音声はモノラルになります。



アンプスピーカーの接続

3.5mm プラグアンプスピーカーを 接続口に接続します。ビデオ再生からのオーディオのみ対応しております。

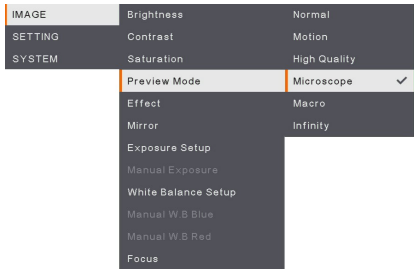
オーディオ出力接続口にはなるべくアンプスピーカーを接続することをお勧めします。また大音量でのイヤホンのご使用は、聴覚障害になるおそれがありますので、リモコンで音量を調整し、注意してご使用ください。



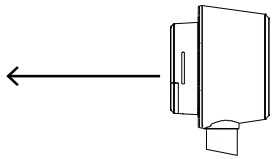
顕微鏡への接続

AVerVision F50+ に顕微鏡を接続すると、グラフィックスディスプレイ機器に微細な対象物を拡大表示できるため、観察の際に目をこらす必要がありません。

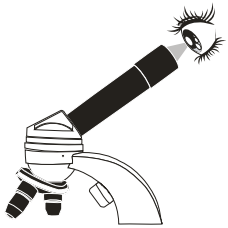
1. **メニュー** を押して、**イメージ** タブ > **モード** > **(顕微鏡)** を選択し、↵ を押します。



2. カメラヘッドを最端に向けて、**オートフォーカス** を押します。

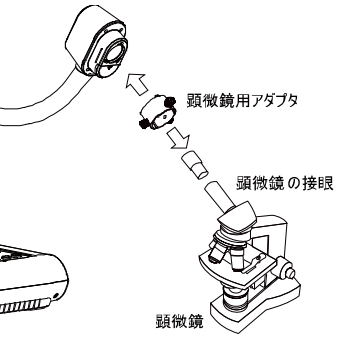


3. 顕微鏡の焦点を調節します。



4. 顕微鏡の接眼部に合うゴム製カプラを選択し、顕微鏡用アダプタに挿入します。

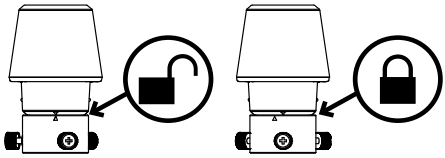
5. 顕微鏡から接眼部を取り外し、ゴム製カプラを挿入した顕微鏡用アダプタに接続します。アダプタが接眼部に固定されるまでねじ 3 本を締め付けます。



- 接眼レンズについては、アイレリーフを 33mm 以上とることを推奨します。
- 画像の表示を見やすくするには、手動で調整してください

6. 顕微鏡用アダプタを接続した接眼部を AVerVision F50+ のカメラヘッドに取り付けます。その後、顕微鏡に接続します。

カメラヘッドと顕微鏡用アダプタの矢印が同じ位置になるように合わせてから、矢印を時計回りにひねってロックします。

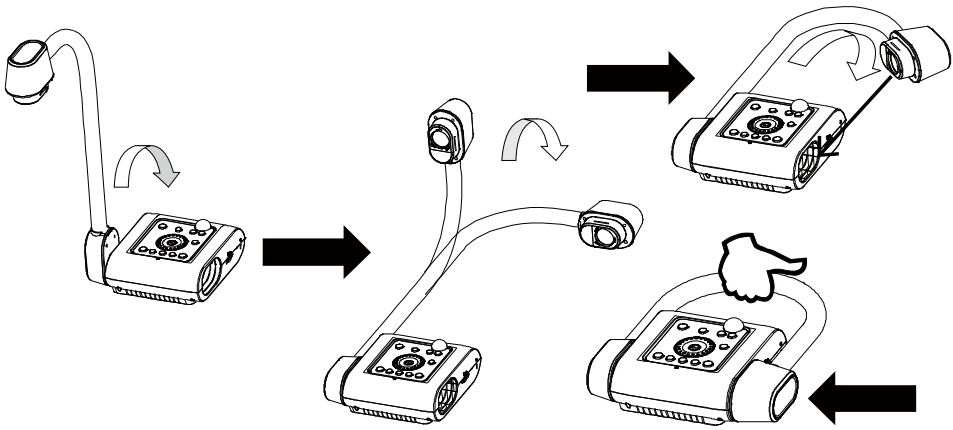


設定と準備

このセクションでは、使用条件に合わせて AVerVision F50+ を調整する方法について説明します。

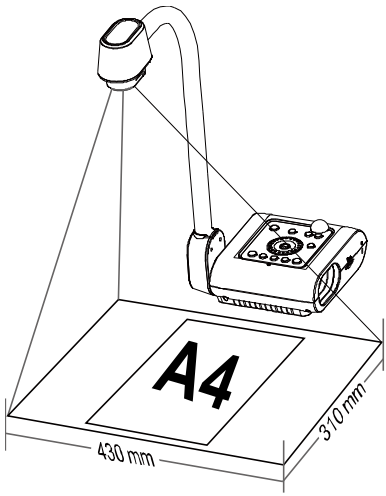
収納と取り扱い

フレキシブルアーム設計により、アームを自由に曲げてカメラヘッドをカメラホルダーに収納することができます。カメラヘッドをカメラホルダーに正しく固定すれば、持ち手として使用して AVerVision F50+ を持ち運ぶことができます。

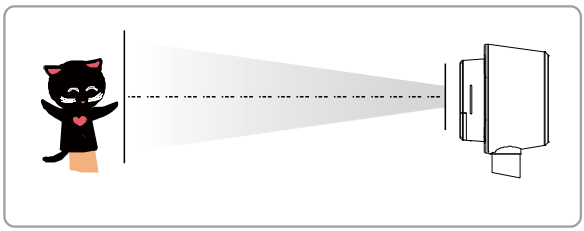


撮影エリア

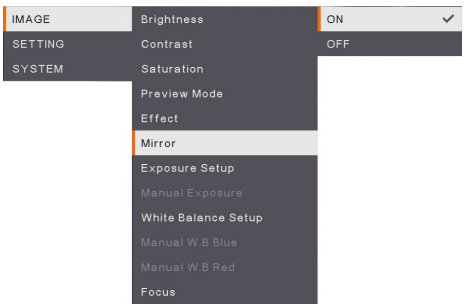
撮影エリアでは 430x310mm の範囲を映すことができます。これは A4 サイズの縦方向の用紙に相当します。



カメラヘッドが直立した状態で、回転ボタンを 1 回押すと画像を 180° 回転させることができます。

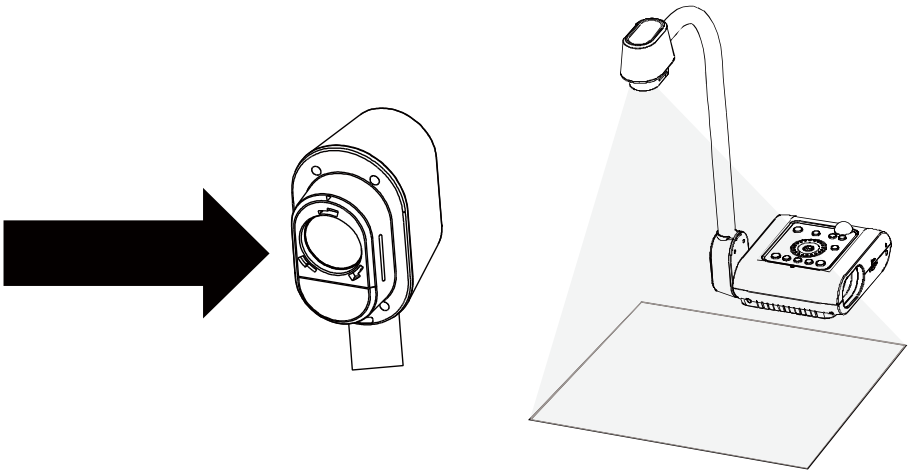


画像を反転するには、メニュー > ミラー を選択し、↵ を押してオンを選択します。



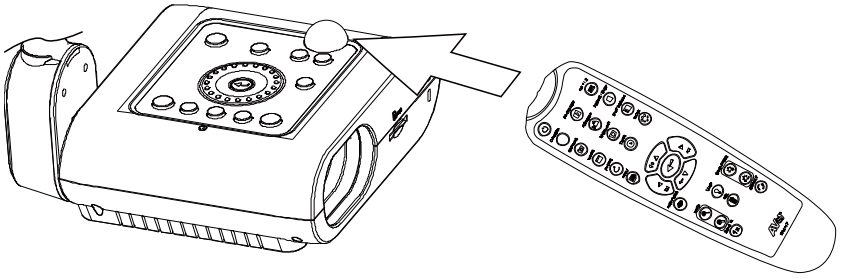
カメラヘッドLEDライト

コントロールパネルまたはリモコンで照明ボタンを押すと、ライトが点灯/消灯します。



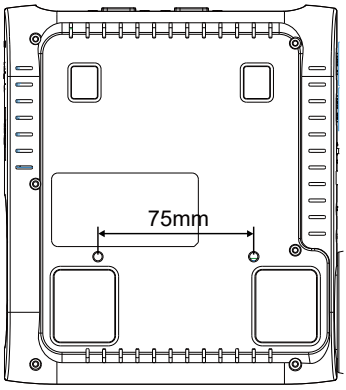
赤外線センサー

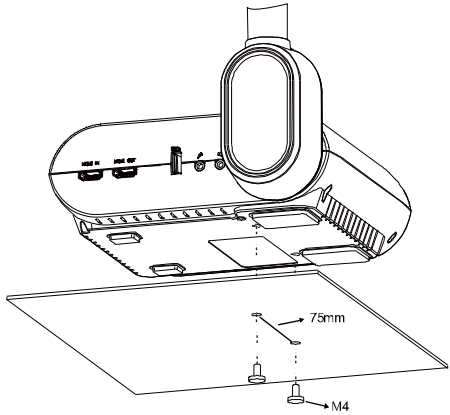
リモコンは赤外線センサーに向けて操作してください。



F50+ を平らな面に固定

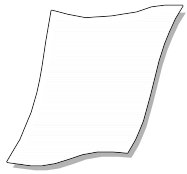
下図に示すように、平らな面の穴と穴の中心の距離が 75 mm になるように測ってマークします。6.0 mm 穴用の M4.0 ねじを 2 つ使用して、F50+ を平らな面に固定します。





反射防止シート

反射防止シートは特殊コーティングされたシートです。このシートで、雑誌や写真など、光沢のある被写体や表面を表示させる場合の反射を防止します。光沢のある書類の上に反射防止シートを乗せるだけで、反射を防止することができます。



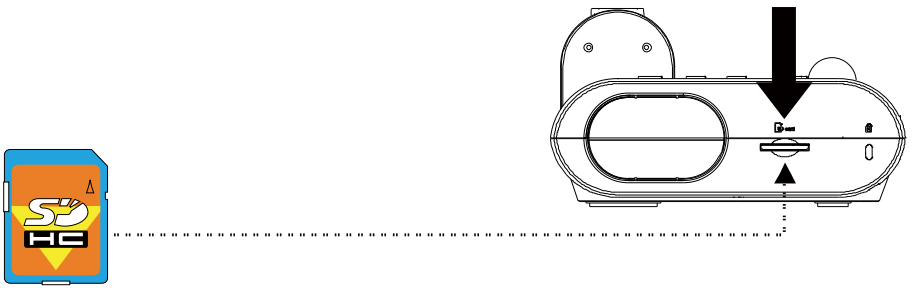
外部メモリストレージ

AVerVision F50+ は SD メモリカードと USB フラッシュドライブのどちらにも対応しており、より大容量の画像撮影やオーディオとビデオの録音・録画が可能となっております。AVerVision F50+ は外部ストレージメディアの場所を検出し、前回検出されたストレージに自動的に切り替えます。外部ストレージが接続されていない場合は、撮影された静止画像はすべて内蔵メモリに保存されます。

SD カードの挿入

接触部を下向きにして奥まで挿入します。カードを取り外すには、カードを押してその一部を出してから、引き出します。対応している SD カードの容量は 1GB～32GB です(FAT32)。

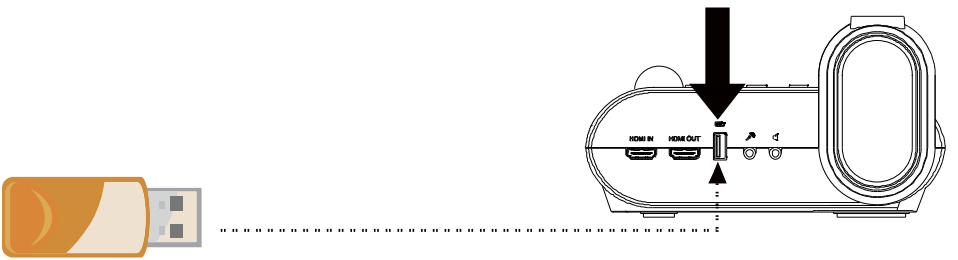
高画質の録画をするには、クラス 6 以上の SDHC カードの使用を推奨します。



セキュアデジタル(SD)

USB フラッシュドライブの挿入

USB スロットには USB フラッシュドライブを接続します。AVerVision F50+ は 1～32GB (FAT32)の USB フラッシュドライブに対応しております。**より高品質なビデオを録画するには、AVerVision F50+ を使用して USB フラッシュドライブをフォーマットすることをお勧めします。**



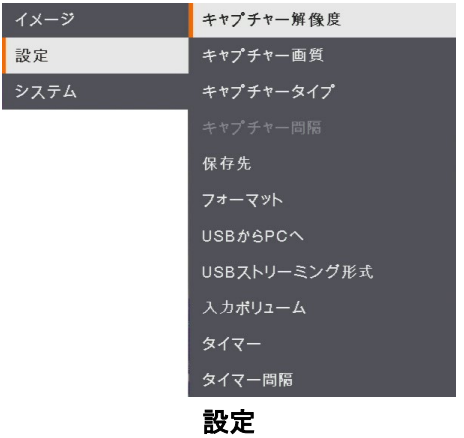
USBフラッシュドライブ

OSD メニュー

OSD メニューには、**「イメージ」**、**「設定」**、**「システム」**の 3 つの主なオプションがあります。



イメージ



設定



システム

メニューとサブ・メニューのナビゲート

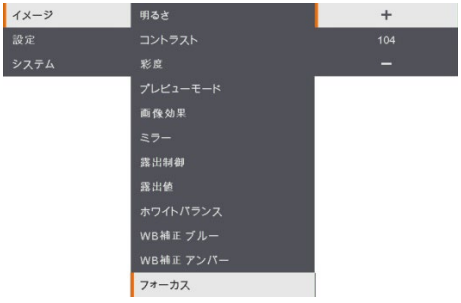
1. リモコンまたはコントロール・パネルの「メニュー」ボタンを押します。
2. ►、◄、▲および▼を押して、メニュー・リストから機能を選択します。
3. ↵ を押して決定します。
4. ▲と▼を使用して設定を調整または選択します。
5. ↵ を押してサブ・メニューに入ります。

イメージ

メニュー画面	説明
	**明るさ** 明るさレベルを 0～255 の間に手動で調整します。
	**コントラスト** 明るい環境と暗い環境では、コントラスト・レベルを 0～255 の間に手動で調整します。
	**彩度** 彩度レベルを 0～255 の間に手動で調整します。

メニュー画面	説明
	**撮影モード** 撮影モードを下記項目から選択します。 **標準** – 標準の撮影モードです。 **モーション** – 映像のフレーム数を優先します。 **高画質** – 最高画質の高解像度。 **顕微鏡** – 顕微鏡接続用に光学ズームを自動的に調整します。 **マクロ** – 近い被写体を撮影する際に使用します。 **無限遠** – 遠い被写体を撮影する際に使用します。
	**画像効果** 画像をカラー（24 ビット・カラー）、モノクロ（白黒）、またはネガに転換します。
	**ミラー** 選択すると、映像の左右が反転します。

メニュー画面	説明
	**露出制御** 「自動」を選択して、露出値を自動的に調整します。 「手動」を選択すると、露出値の手動設定が有効になります。
	**露出値** **手動** – 露出レベルを手動で調整します。露出は 0～99 の間に調整できます。
	**ホワイトバランス** 様々な照明条件や色温度に合わせてホワイトバランス設定を選択します。 **自動** – ホワイトバランスを自動的に調整します。 **手動** –カラー・レベルを手動で調整します。「手動」を選択すると、ホワイトバランスの手動設定が有効になります。

メニュー画面	説明
	**WB 補正ブルー** 青みのカラー・レベルを手動で調整します。カラー・レベルは 255 まで調整できます。
	**WB 補正アンバー** 赤みのカラー・レベルを手動で調整します。カラー・レベルは 255 まで調整できます。
	**フォーカス** カメラのフォーカスを手動で微調整します。

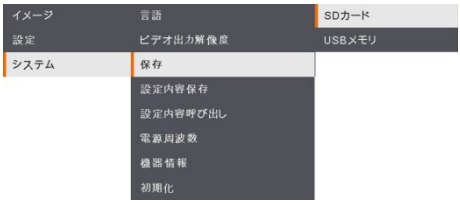
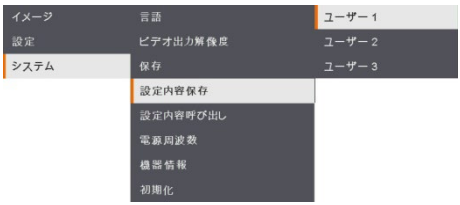
設定

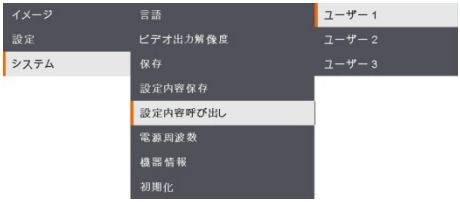
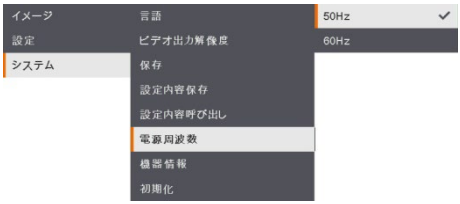
メニュー画面	説明
	**キャプチャー解像度** 撮影解像度を選択します。13M 設定では、撮影解像度は 4208 × 3120 です。 標準を選択すると、撮影解像度は映像の解像度設定と同じ解像度で撮影されます。
	**キャプチャー画質** 撮影時の画質設定を選択します。 最高画質を選択すると、最高画質の撮影画質が得られます。
	**キャプチャータイプ** キャプチャータイプを選択します。 **撮影** – 静止画を1枚のみ、撮影を行います。 **連写** – 連続する画像を撮影し、任意のキーを押して連続撮影を停止します。「連続」を選択すると、撮影間隔の設定が有効になります。
	**キャプチャー間隔** 連続撮影の時間間隔を設定します。長さは最大600 秒（10 分）に設定できます。

メニュー画面	説明
	**保存先** データの保存先を変更します。オーディオとビデオの記録は、SD カード、または USB メモリにのみ保存できます。
	**フォーマット** 選択したメモリのすべてのデータを削除(フォーマット)します。
	**USB から PC へ** AVerVision F50+ とコンピューターを USB ケーブルで接続する場合の動作モードを選択します。 **カメラ** – コンピューターのウェブカメラとして、または付属のソフトウェアと組み合わせて使用して、ビデオを録画し、静止画像を撮影できます。 **保存先** – 撮影した画像やビデオをメモリからコンピューターのハードディスクに転送します。
	**USBストリーミングフォーマット** 動画圧縮規格につきましては、H.264 のオン／オフを選択できます。

メニュー画面	説明
	**入力ボリューム** 録音入力または USB オーディオ入力のボリュームを調整します。
	**タイマー開始** タイマーを開始します。タイマーは、カウントダウンがゼロに達すると自動的にカウントアップして、経過時間を示します。
	**タイマー一時停止／停止** 計時中にメニューボタンを押すと、タイマーを一時停止または停止します。
	**タイマー間隔** タイマーの時間を最大 2 時間に設定します。

システム

メニュー画面	説明
	**言語** 別の言語を変更して選択します。F50+ は 12 国言語に対応します。
	**ビデオ出力解像度** 画面に画像を表示する解像度を設定します。出力デバイスの解像度は自動的に検出され、一番高い解像度に設定されます。
	**保存** 内蔵メモリから SD カードまたは USB メモリに画像をコピーします。
	**設定内容保存** 現在の設定（明るさ、コントラスト、彩度、プレビュー・モードなど）を選択したプロファイル番号に保存します。

メニュー画面	説明
	**設定内容呼び出し** 設定を選択したプロファイル番号に戻します。
	**電源周波数** 50Hz または 60Hz から選択します。一部のディスプレイ・デバイスは、高いリフレッシュ・レートを処理できません。出力が別のリフレッシュ・レートに切り替えられると、画像が数回ちらつきます。
	**機器情報** 製品情報を表示します。 
	**初期化** すべての設定を工場出荷時の初期値に戻します。保存されたすべての構成が削除されます。

再生

メニュー画面	説明
	**スライドショー** スライドショーを開始または一時停止します。
	**間隔** 画像または動画の再生間隔を設定します。
	**保存先** 内蔵メモリ、SD カード、USB メモリなどの保存先から画像またはビデオを選択します。
	**全て削除** 保存されたすべての画像または動画を削除するには、このオプションを選択します。

撮影された画像/ビデオのコンピュータへの転送

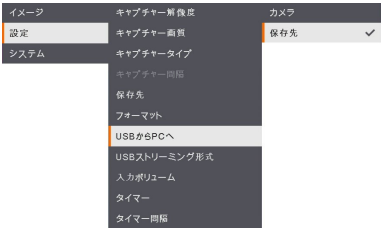
画像やビデオを保存する二つの方法：

a. 内蔵メモリ+SD カード

b. 内蔵メモリ+USB フラッシュ・ドライブ

USB ケーブルを接続する**前に**、以下の指示に**必ず**従ってください。

1. USB ケーブルに接続する前に「USB から PC へ 」で「保存先」を選択する**必要があります**。



2. プレゼンテーション画面の右下隅に「*大容量ストレージが開始します (チェックの必要あり)…*」が表示されたら、USB ケーブルを接続します。

3. USB ケーブルを接続する際に、システムは新しい取り外し可能ディスクを自動的に検出します。撮影した映像またはビデオを **F50+内蔵メモリ、SD カードまたは USB フラッシュ・ドライブ**からコンピューターのハードディスクに転送できます。

主な仕様

画像

センサー	1/3.06” CMOS カラー画像センサー
画素数	13 兆画素
フレームレート	最大 60 フレームレート
ホワイトバランス	オート / マニュアル
露出	オート / マニュアル
画像表示モード	標準／モーション／高画質／顕微鏡／マクロ／インフィニティ
画像効果	カラー／モノクロ／ネガ
アナログ RGB 出力	1920x1080 @60, 1280x720 @60, 1024x768 @60
HDMI 出力	3840x2160 @60/30, 1920x1080 @60, 1280x720 @60, 1024x768 @60
内蔵メモリ	200-240 フレーム（XGA）

光学

フォーカス	オート / マニュアル
最大撮影エリア	430mm x 310mm
ズーム方式	最大 230 倍（10 倍光学ズーム、23 倍デジタル・ズーム）

電源

電源	AC100V～240V、50Hz/60Hz
消費電力	12W (ランプ消灯時); 12.8W (ランプ点灯時)

照明

ランプの種類	LED ライト

入力/出力

RGB 入力端子	15 ピン D-sub（VGA）
RGB 出力端子	15 ピン D-sub（VGA）
HDMI 出力	あり
HDMI 入力	あり
RS-232	ミニ DIN ジャック（RS-232 アダプターケーブルをお使いください。）
USB-A ポート	1（USB フラッシュ・ドライブ用のタイプ A）
USB-C ポート	1（PC への接続用）
DC 12V 入力端子	電源ジャック
マイク	ビルトイン
スピーカー出力	フォンジャック

寸法、重量

使用時(W x H x D)	200mm x 545mm x 380mm (ゴム製脚部も含めて +/-2mm)
収納時(W x H x D)	250mm x 77mm x 305mm (ゴム製脚部も含めて +/-2mm)
本体重量	約 2.56 kg

外部ストレージ

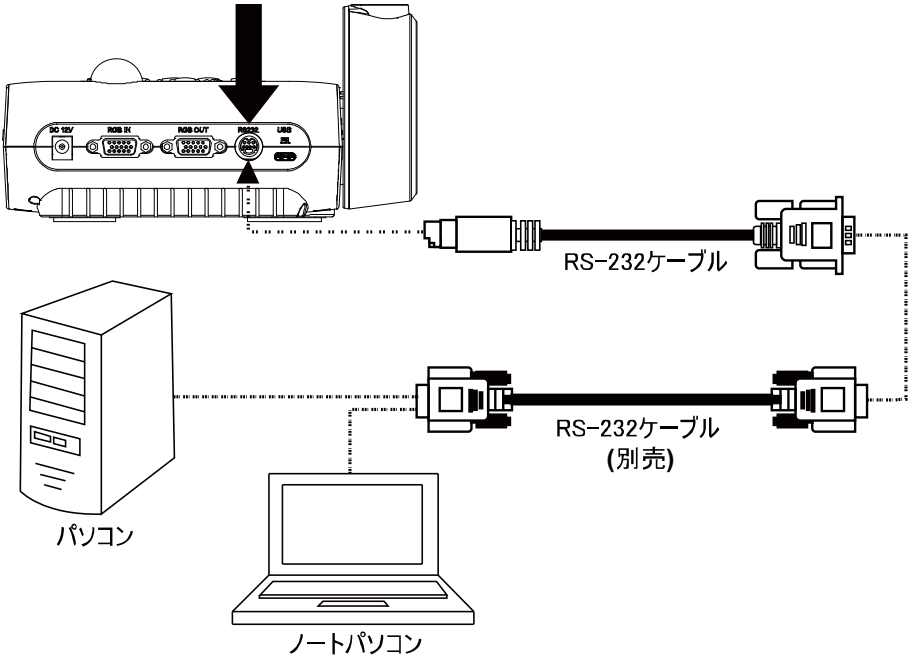
SDHC カード	最大 32GB(FAT32)
USB フラッシュドライブ	最大 32GB(FAT32)

RS-232 インターフェースの使用

AVerVision F50+ は、コンピューターまたは RS-232 接続を介した集中制御パネルを使用して制御できます。

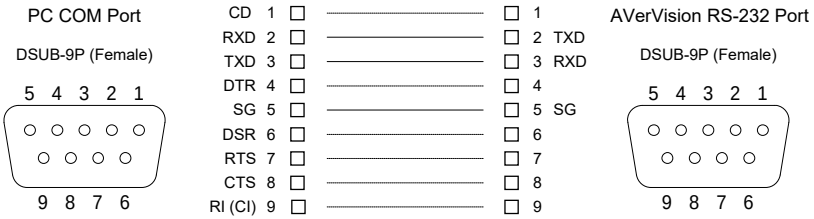
コンピュータのRS-232 への接続

コンピュータの RS-232 接続口を RS-232 ケーブルの RS-232 ジャックに接続します。



RS-232 ケーブル仕様

RS-232 ケーブルの仕様は以下の通りです。



RS-232 送信仕様

- スタートビット :1 ビット
- データビット :8 ビット
- ストップビット :1 ビット
- パリティビット :なし
- X パラメータ :なし
- ボーレート (通信速度) :9600bds

RS-232 通信方式

送信デバイスコード(1 Byte)	0x52	
タイプコード(1 バイト)	0x0B	0x0A
データ長コード(1 バイト)	0x03	0x01
データコード[0](1 バイト)	RS-232 送信コマンド テーブル	RS-232 取得コマンド テーブル
データコード[1](1 バイト)	RS-232 送信コマンド テーブル	X
データコード[2](1 バイト)	RS-232 送信コマンド テーブル	X
受信デバイスコード(1 Byte)	0x53	
チェックサムコード(1 バイト)	RS-232 送信コマンド テーブル	RS-232 取得コマンド テーブル
形式	送信デバイス + タイプ + 長さ+ データ+ 受信データ+ CheckSum	送信デバイス + タイプ + 長さ + データ + 受信データ + CheckSum
例	電源投入コマンド: 0x52 + 0x0B + 0x03 + 0x01 + 0x01 + 0x00 + 0x53 + 0x5B	WB Red 取得値: 0x52 + 0x0A + 0x01+ 0x02+ 0x53 + 0x5A

RS-232 送信コマンド表

送信フォーマット：0x52 + 0x0B + 0x03 + Data[0] + Data[1] + Data[2] + 0x53 + Checksum*1

成功受信フォーマット：0x53 + 0x00 + 0x02+ *2 + 0x00 + 0x52 + Checksum*4

異常受信フォーマット：0x53 + 0x00 + 0x01+ *3 + 0x52 + Checksum*5

*1: Checksum = 0x0B xor 0x03 xor Data[0] xor Data[1] xor Data[2] xor 0x53

*2: Receive data ok = 0x0B, Not Command = 0x03

*3: ID error = 0x01, Checksum error = 0x02, Function fail = 0x04

*4: Checksum = 0x00 xor 0x02 xor *2 xor 0x00 xor 0x52

*5: Checksum = 0x00 xor 0x01 xor *3 xor 0x52

*6: Standby Mode Receive Data = 0x51 + 0xFF + 0x01 + 0x0B + 0x51 + 0xA4
Power On Mode Receive Data = No Data Return

*7: Standby Mode Receive Data = 0x51 + 0x00 + 0x01 + 0x0B + 0x51 + 0x5B
Power On Mode Receive Data = 0x53 + 0x00 + 0x02 + 0x0B + 0x00 + 0x52 + 0x5B

機能	Data[0]	Data[1]	Data[2]	Checksum
POWER OFF*6	0x01	0x00	0x00	0x5a
POWER ON*7	0x01	0x01	0x00	0x5b
CAMERA MODE	0x02	0x00	0x00	0x59
PLAYBACK MODE	0x03	0x00	0x00	0x58
PC 1/2	0x04	0x00	0x00	0x5f
IMAGE CAPTURE TYPE: SINGLE	0x05	0x00	0x00	0x5e
IMAGE CAPTURE TYPE: CONTINUOUS	0x05	0x01	0x00	0x5f
CONT. CAPTURE INTERVAL ＋	0x06	0x00	0x00	0x5d
CONT. CAPTURE INTERVAL －	0x06	0x01	0x00	0x5c
IMAGE CAPTURE RESOLUTION: NORMAL	0x07	0x00	0x00	0x5c
IMAGE CAPTURE RESOLUTION: 13M	0x07	0x01	0x00	0x5d
TIMER START	0x08	0x00	0x00	0x53
TIMER PAUSE	0x08	0x01	0x00	0x52
TIMER STOP	0x08	0x02	0x00	0x51
TIMER SET TIME	0x08	0x03	Value[1 ~ 120]	*1
PREVIEW MODE: MOTION	0x0A	0x02	0x00	0x53
PREVIEW MODE: MICROSCOPE	0x0A	0x03	0x00	0x52
PREVIEW MODE: MACRO	0x0A	0x04	0x00	0x55
PREVIEW MODE: INFINITE	0x0A	0x05	0x00	0x54

機能	Data[0]	Data[1]	Data[2]	Checksum
PREVIEW MODE: NORMAL	0x0A	0x06	0x00	0x57
PREVIEW MODE: HIGH QUALITY	0x0A	0x07	0x00	0x56
PREVIEW CAPTURE	0x0B	0x00	0x00	0x50
PLAYBACK DELETE	0x0C	0x00	0x00	0x57
PLAYBACK FULL SCREEN	0x0D	0x00	0x00	0x56
MIRROR OFF	0x0E	0x00	0x00	0x55
MIRROR ON	0x0E	0x01	0x00	0x54
ROTATE OFF	0x0F	0x00	0x00	0x54
ROTATE ON	0x0F	0x02	0x00	0x56
EFFECT: COLOR	0x10	0x00	0x00	0x4b
EFFECT: B/W	0x10	0x01	0x00	0x4a
EFFECT: NEGATIVE	0x10	0x02	0x00	0x49
CONTRAST INCREASE	0x11	0x00	0x00	0x4a
CONTRAST DECREASE	0x11	0x01	0x00	0x4b
CONTRAST VALUE	0x11	0x02	Value[1 ~ 255]	*1
BRIGHTNESS INCREASE	0x12	0x00	0x00	0x49
BRIGHTNESS DECREASE	0x12	0x01	0x00	0x48
BRIGHTNESS VALUE	0x12	0x02	Value[1 ~ 255]	*1
EXPOSURE: AUTO	0x13	0x00	0x00	0x48
EXPOSURE: MANUAL	0x13	0x01	0x00	0x49
EXPOSURE MANUAL INCREASE	0x14	0x00	0x00	0x4f
EXPOSURE MANUAL DECREASE	0x14	0x01	0x00	0x4e
WHITE BALANCE: AUTO	0x15	0x00	0x00	0x4e
WHITE BALANCE: MANUAL	0x15	0x01	0x00	0x4f
WHITE BALANCE BLUE INCREASE	0x16	0x00	0x00	0x4d
WHITE BALANCE BLUE DECREASE	0x16	0x01	0x00	0x4c
WHITE BALANCE RED INCREASE	0x17	0x00	0x00	0x4c
WHITE BALANCE RED DECREASE	0x17	0x01	0x00	0x4d
FLICKER: 50Hz	0x18	0x00	0x00	0x43
FLICKER: 60Hz	0x18	0x01	0x00	0x42

機能	Data[0]	Data[1]	Data[2]	Checksum
RECORD: OFF	0x23	0x00	0x00	0x78
RECORD: ON	0x23	0x01	0x00	0x79
MOVIE FAST REWIND	0x25	0x00	0x00	0x7e
MOVIE FAST FORWARD	0x25	0x01	0x00	0x7f
MOVIE VOL INC	0x26	0x00	0x00	0x7d
MOVIE VOL DEC	0x26	0x01	0x00	0x7c
STORAGE: EMBEDDED	0x28	0x00	0x00	0x73
STORAGE: SD CARD	0x28	0x01	0x00	0x72
STORAGE: THUMB DRIVE	0x28	0x02	0x00	0x71
FORMAT: EMBEDDED	0x29	0x00	0x00	0x72
FORMAT: SD CARD	0x29	0x01	0x00	0x73
FORMAT: THUMB DRIVE	0x29	0x02	0x00	0x70
OUTPUT RESOLUTION: 1024x768	0x2F	0x01	0x00	0x75
OUTPUT RESOLUTION: 1280x720	0x2F	0x02	0x00	0x76
OUTPUT RESOLUTION: 1920x1080	0x2F	0x03	0x00	0x77
OUTPUT RESOLUTION: 3840x2160@30	0x2F	0x08	0x00	0x7c
OUTPUT RESOLUTION: 3840x2160@60	0x2F	0x09	0x00	0x7d
USB CONNECT: USB CAMERA	0x30	0x00	0x00	0x6b
USB CONNECT: MASS STORAGE	0x30	0x01	0x00	0x6a
BACKUP TO SD CARD	0x31	0x00	0x00	0x6a
BACKUP TO THUMBDRIVE	0x31	0x01	0x00	0x6b
PROFILE SAVE: PROFILE 1	0x32	0x00	0x00	0x69
PROFILE SAVE: PROFILE 2	0x32	0x01	0x00	0x68
PROFILE SAVE: PROFILE 3	0x32	0x02	0x00	0x6b
PROFILE RECALL: PROFILE 1	0x33	0x00	0x00	0x68
PROFILE RECALL: PROFILE 2	0x33	0x01	0x00	0x69
PROFILE RECALL: PROFILE 3	0x33	0x02	0x00	0x6a
SLIDESHOW: OFF	0x34	0x00	0x00	0x6f
SLIDESHOW: ON	0x34	0x01	0x00	0x6e
CAPTURE QUALITY: NORMAL	0x37	0x00	0x00	0x6c

機能	Data[0]	Data[1]	Data[2]	Checksum
CAPTURE QUALITY: HIGH	0x37	0x01	0x00	0x6d
CAPTURE QUALITY: FINEST	0x37	0x02	0x00	0x6e
AUTO FOCUS	0x40	0x00	0x00	0x1b
MENU	0x41	0x00	0x00	0x1a
ARROW – DOWN	0x42	0x00	0x00	0x19
ARROW – UP	0x42	0x01	0x00	0x18
ARROW – LEFT	0x42	0x02	0x00	0x1b
ARROW – RIGHT	0x42	0x03	0x00	0x1a
ENTER	0x43	0x00	0x00	0x18
FREEZE/STOP	0x44	0x00	0x00	0x1f
DEFAULT	0x45	0x00	0x00	0x1e
ZOOM –	0x46	0x00	0x00	0x1d
ZOOM +	0x46	0x01	0x00	0x1c
ZOOM RESET	0x47	0x00	0x00	0x1c
FOCUS TO NEAR	0x48	0x00	0x00	0x13
FOCUS TO FAR	0x48	0x01	0x00	0x12
LAMP OFF	0x49	0x00	0x00	0x12
LAMP ON	0x49	0x01	0x00	0x13
SATURATION INCREASE	0x4B	0x00	0x00	0x10
SATURATION DECREASE	0x4B	0x01	0x00	0x11
SATURATION VALUE	0x4B	0x02	Value[1 ~ 255]	*1
MUTE OFF	0x4C	0x00	0x00	0x17
MUTE ON	0x4C	0x01	0x00	0x16

RS-232 取得コマンド表

送信フォーマット：0x52 + 0x0A + 0x01 + **データ**[0] + 0x53 + チェックサム

受信フォーマット：0x53 + 0x0C + 0x01 + ReData[0] + 0x52 + ReCheckSum *1

xor：排他的論理輪演算子

*1 ：ReCheckSum = 0x0C xor 0x01 xor ReData[0] xor 0x52

*2 ：電源オフステータス取得の受信フォーマット: 0x51 + 0xFF + 0x01 + 0x0A + 0x51 + 0xA5

機能	データ[0]	チェックサム	ReData[0]
RED VALUE	0x02	0x5A	VALUE[0 ~ 255]
BLUE VALUE	0x03	0x5B	VALUE[0 ~ 255]
POWER STATUS	0x04	0x5C	OFF *2 1: ON
LAMP STATUS	0x05	0x5D	0 : OFF 1: ON
DISPLAY STATUS	0x06	0x5E	0: CAMERA MODE 1: PLAYBACK MODE 2: PC-1 PASS THROUGH
FREEZE STATUS	0x08	0x50	0 : OFF 1: ON
BRIGHTNESS VALUE	0x0A	0x52	VALUE[1 ~ 255]
CONTRAST VALUE	0x0B	0x53	VALUE[1 ~ 255]
SATURATION VALUE	0x0D	0x55	VALUE[1 ~ 255]

トラブルシューティング

このセクションでは、AVerVision F50+ の使用時に発生する可能性のある一般的な問題の解決方法について説明致します。

プレゼンテーション画面に画像が表示されません。

1. 本書に記述されているようにすべてのコネクタが正しく接続されているかどうか確認してください。
2. ディスプレイ出力装置のオン/オフスイッチを確認してください。
3. ディスプレイ出力装置の設定を確認してください。
4. ノートパソコンまたはコンピュータから表示出力装置を用いてプレゼンテーションを行う場合、コンピュータの RGB(VGA)出力から AVerVision F50+ の RGB 入力へのケーブル接続を確認し、AVerVision F50+ が PC モードであることを確認してください。
5. HDMI ディスプレイ出力の場合、ディスプレイ・デバイスと AVerVision F50+ の両方が同期するのを待つ間に遅延が発生します。画面にカメラの画像が表示されるまで、4～7 秒ほどお待ちください。

プレゼンテーション画面に歪んだ画像や不鮮明な画像が表示されます。

1. 可能であれば、変更した設定をすべて元の工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。リモコンの「**初期化**」ボタンを押すか、OSD メニュー「システム」タブで「デフォルト」を選択します。
2. 可能な場合は、明るさまたはコントラストメニュー機能を使って歪みを修正してください。
3. 不鮮明な画像や焦点が合っていない画像が表示された場合は、コントロールパネルの Auto Focus（自動焦点）ボタンを押してください。

プレゼンテーション画面にコンピュータ信号が表示されません。

1. ディスプレイ装置、AVerVision F50+、コンピュータ間のすべてのケーブル接続を確認してください。
2. コンピュータと AVerVision F50+ を接続してから、コンピュータの電源を入れてください。
3. ノートパソコンについては、FN＋F5 を繰り返し押して、表示モードを切り替え、コンピュータ画像をプレゼンテーション画面に表示してください。異なるコマンドについては、お使いのノートパソコンのマニュアルを参照してください。

カメラモードから PC モードに切り替えると、プレゼンテーション画面に PC やノートパソコンのデスクトップ画像が正しく表示されません。

1. PC またはノートパソコンのデスクトップに戻って、デスクトップ上でマウスを右クリックし、「プロパティ」を選択してから、「設定」タブを選択してください。「2」のモニタをクリックして「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のボックスをオンにしてください。
2. その後、もう一度 PC またはノートパソコンに戻り、デスクトップ上でマウスを再び右クリックしてください。
3. このとき、「グラフィックオプション」、「出力先」、「Intel® Dual Display Clone」の順に選択してから、「モニタ + ノートパソコン」を選択してください。
4. これらの手順に従うと、PC またはノートパソコン、さらにプレゼンテーション画面でも同じデスクトップ画像を表示させることができます。

AVerVision F50+ は挿入された USB フラッシュ・ドライブを検出できません。

USB フラッシュ・ドライブが正しく挿入され、正しいフォーマット形式であることを確認してください。フォーマット形式は FAT32 形式のみ対応します。

保証について

該当する製品の購入日から「**Warranty Period of AVer Product Purchased**（購入された AVer 製品の保証期間）」セクションに定める期間、AVer Information Inc.（「AVer」）は、該当する製品（「製品」）が、AVer の製品向け文書に実質的に適合し、通常の使用では、その製造とコンポーネントに材料および仕上がりの欠陥がないことを保証します。この契約で使用される「使用者」は使用者個人、または該当の製品を使用またはインストールする対象となる事業体を意味します。この制限付き保証は本来の購入者としての使用にのみ限定されます。前述の場合を除き、製品は「現状のまま」提供されます。AVer はいかなる状況でも、使用者が問題または中断なく製品を操作できること、または製品が使用者の目的に適合していることを保証するものではありません。この節における使用者の唯一の救済およびAVer の全責任は、AVer の選択で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。この保証は、（a）製品のシリアル番号が判別不能だったり、修正されたり、外されたりした場合、または（b）本製品と一緒に使用されるカートン、ケース、バッテリ、キャビネット、テープ、アクセサリには適用されません。この保証は、（a）事故、乱用、誤用、粗略な取扱い、火災、水害、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不適切な改造、製品に含まれる指示に従わないこと、（b）製造元の担当者以外の者によるサービスの誤用、（c）出荷による損傷（そうした賠償は運送業者に請求しなければならない）、または（d）製品の不具合に関係のない他の原因によって、損傷、機能悪化、異常が生じた製品には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、（a）本来の保証期間、または（b）修理または交換した製品の出荷日から30 日以内とします。

保証の制限

AVer はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者様に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護費用については、使用者様の責任となります。この保証は、製品が AVer の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合にのみ適用されます。特に、保証は、（i）事故、異常な物理的、電気的、電磁気的ストレス、粗略な取扱い、誤用、（ii）AVer の仕様の範囲を超える電力の変動、（iii）AVer または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または（iv）AVer または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

保証の放棄

AVer は、明白に規定されている場合を除き、法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗示的か、法令によるかを問わず、品質の満足、売買の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適合性、第三者の非侵犯を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

責任の限定

AVer はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対するAVerの 責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者がAVer に支払った額を超えないものとします。

準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与します。

保証期間については、保証書を参照してください。

P/N: 300APF30-END